

## 今月のKYT（危険予知トレーニング）

雪が降っている片側1車線道路を、前車に追従しながら走行しています。

対向車線には降雪車が走行しています。

自車はこのまま直進したいのですが……………。

下記のKYTトレーニングを実施し、自己の危険予知能力を高めましょう！



◎ 予想される危険を記入して下さい。 氏名 \_\_\_\_\_

1 \_\_\_\_\_

2 \_\_\_\_\_

3 \_\_\_\_\_

知 予 預 知  
危 険 イ  
水 ポ

- ① 除雪車に注意が向き、前車の減速に気づくのが遅れて追突する。
- ② 急ブレーキをかけスリップする。

除雪車の動きを注視しない

この場面では、除雪車に気をとられていないとわき見運転になり、前車がブレーキをかけた場合に減速が間に合わず、追突する危険があります。

とくに冬道は、夏に比べて停止距離が伸びることから、十分な車間距離を保持するとともに、わざわざ前車の動きをしっかりと確認しながら運転しましょう。

「急」のつく運転操作は厳禁

冬道では、急ハンドルや急ブレーキといった「急」のつく運転操作をすると、スリップにつながり大変危険です。「急」のつく操作をしないで済むよう、スピードを抑えた慎重な運転に徹しましょう。



冬道では、十分な車間距離をとり、スピードを抑えて運転しよう。

KYT (危険予知訓練) は、交通場面を見て、どこに、どういう危険があるかを想像することで、危険を予測する訓練法です。

日々KYTを行い、危険感受度を高めて危険回避に役立てましょう。

※ 毎月配信しています。有効に活用し事故防止にお役立てください。